

平成28年

雲南市議会 6月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成28年6月2日～3日】

平成 28 年雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/2(木) 9時30分～	16 / 堀江 治之	一問一答	1～2	11				
2		7 / 細木 照子	一括	2～5	12				
3	6/2(木) 13時00分～	8 / 佐藤 隆司	一問一答	5～7	13				
4		13 / 細田 実	一問一答	7～8	14				
5		5 / 白築俊幸	一問一答	8～10					
6		6/3(金) 9時30分～	1 / 松林孝之	一問一答	10～12				
7	2 / 中村辰眞		一問一答	12～14					
8	6/3(金) 13時00分～	3 / 原 祐二	一問一答	14～15					
9		11 / 土江良治	一問一答	16～17					
10		9 / 周藤正志	一問一答	18～19					

平成28年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

平成28年5月27日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	16	堀江治之 (一問一答)	1. 観光振興策について 2. 斐伊川水系河川整備計画について	<p>(1) 今年の桜まつりは大変な人出となっていたが、その状況をどの様に把握されているのか伺う。</p> <p>(2) 高速道路の利用等による、市外・県外からの来客状況はどのように把握されているのか伺う。</p> <p>(3) 多くの花見客が高欄の無い潜水橋(願い橋)を往来されていたが、安全な通行対策が必要ではないのか伺う。</p> <p>(4) 駐車場が不足していたように見受けたがその利用状況はどうであったのか伺う。</p> <p>(5) 駐車場として広大な斐伊川河川敷のさらなる拡大活用はできないのか伺う。</p> <p>(6) 河川敷活用に対するアンケート調査がされていたが、その結果と対応はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(7) 平成22年に雲南市から国・県に斐伊川河川敷の環境整備の要望活動がされたがその後、どの様になっているのか伺う。</p> <p>(8) JR西日本の豪華寝台列車「瑞風」の運行並びに「出雲国たたら風土記」の日本遺産認定、更には映画「たたら侍」等による観光客に対する各種の施設整備をどのように図る考えなのか伺う。</p> <p>(1) 斐伊川堤防補強工事のための現地測量に伴う土地立ち入りの説明会が開催されたが、その後どの様な状況なのか伺う。</p> <p>(2) 今後工事实施に向けてのスケジュールはどのようになるのか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		堀 江 治 之	3. 災害時業務継続 計画(BCP)につ いて	伺う。 (1) 国(内閣府)は各自治体に大規模災害時等における業務継続計 画書を策定するよう求められているが、雲南市の策定状況につい て伺う。 (2) 重要6項目の策定内容について、どのようになっているのか 伺う。	
2	7	細 木 照 子 (一括方式)	1. 雲南市の落石防 止対策について 2. 「保育士」、「介 護士」の待遇改善 について	(1) 新聞報道によれば、昨年までの10年間で県内の市町村道の 落石事故が27件起きており、市内でも2件起きているようだ。 市内を回っていると、いろいろな道路脇に恐い箇所を見かける。 石だけでなく、樹木類の折れ・崩落も不安に思える箇所がある。 事故防止対策について、どのように行われているか伺う。 (1) 保育士・介護士の専門的な仕事は、じっくりと付き添ってみ ないと、厳しい専門性はわからない。「子どもと遊んでお金をもら える」とか「おとなしい高齢者の世話をしてお金をもらっている」 等は、まったく表面の一部しか見えていない方の見方だ。保育士・ 介護士共に緊迫した涙ぐましい仕事にも耐えている。その上、平 均給与が「全産業」に比べて10万円以上低いと言われている。 政府の「1億総活躍社会」の計画骨子に若干の給与引き上げが盛 り込まれているようだが、まだまだ差が埋まらない。市としても 国の方へ強力に働きかけておられると思うが、改めて市長の所見 を伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		細 木 照 子	<p>3. 災害時の避難所及び福祉避難所の確保について</p> <p>4. 「雲南市のふるさと納税」について</p> <p>5. 「脱ゆとり教育」について</p>	<p>(1) 「平成28年熊本地震」は特に大規模なものだった。この規模の災害がどこでも発生するとは考え難いが、「避難所」の関係で混乱が起きているように見えた。雲南市を見ても身近な避難所となる自治会集会所・公民館には駐車場が殆ど無いところや、トイレも旧式な和式トイレしか無いところもある。その上、介護等を必要とする「福祉避難所」は、より困難性があると思う。状況と考え方を伺う。</p> <p>(1) 昨年度全国の自治体が受け入れた「ふるさと納税」の寄付額は、前年度より約1,000億円増える見通しだといわれる。地域活性化に良い事だと思ふ反面、新聞などではかなり批判的な記事が目につく。富裕層の節税策とか、寄付の理念がゆがむとか、自治体にとって麻薬という専門家もあるようだ。市ではどの様に判断していて、今後はどの様に対応する考えか伺う。</p> <p>(1) 受験競争過熱の反省から、ゆとり教育は1990年代、学校週5日制が始まると本格化した。ところが、教科学習内容の約3割を軽減したため、学力低下を招いたと批判が出た。文部科学省は2008年から学習項目の増量に切り替えた。「脱ゆとり」である。馳文部科学相は、先月「ゆとり教育」に決別宣言をし、小学校高学年へ英語を教科にしたり、2020年度からはコンピューターのプログラミング教育を必修化するようだ。脱ゆとり教育の急加速ぶりに心配する。教育長の所見を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		細 木 照 子	<p>6. 「中山間地域等直接支払制度」について</p> <p>7. 「自筆遺言」の改正について</p> <p>8. 方言の活用による地域活性化について</p>	<p>(1) この制度は1期5年間の運用である。高齢社会は農業分野でも例外ではなく、高齢者の頑張りが大きい。しかし途中脱退のできない1期5年間を高齢者に求められると、誰しも躊躇がある。もし、高齢で働けなくなった時、病気で働けなくなった時、死亡等、途中脱退が出来る状態なら、もっと気持ち良く参加が出来る。また、農地の所在によって加入グループが別になる。例えば、3自治会に農地が分散していると、3つのグループで加入する事になり、会合や共同作業は3箇所へ参加しなくてはならない。 もっと現場実態を把握して合理的、現実的、弾力的な内容にならないものか伺う。</p> <p>(1) 先月、民法改正原案が示された。その中で「自筆遺言」についてもふれられていた。自筆遺言は全部自筆で書かないといけなかったが、若干緩和されているようだ。遺言を書くのは、高齢になってからが多いようだが、視力が弱かったり、手が震えたり、文字を勘違いしたりする。では、専門家に依頼するか、となると余程のことがない限り躊躇して止めてしまう。「自筆遺言」は「住所、氏名を自筆で書き、実印を押印」で通用するように、国の方へ要望することが出来ないか伺う。</p> <p>(1) 国連教育科学文化機構（ユネスコ）によると、世界で2, 500に上る言語が消滅の危機にあるという。日本でもアイヌ語、沖縄の八重山語、与那国等8つの言語・方言が上げられている。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				一方、方言を活用して地域活性化をしているところもあり、お金を掛けずに地域の独自性をアピール出来ると好評らしい。この地域にも素晴らしい方言がある。是非ともこの身近な宝を活用して地域活性化に取り組んで欲しいが、所見を伺う。	
3	8	佐藤隆司 (一問一答)	1. 更なる観光戦略について 2. 市政懇談会について	<p>(1) 市長におかれては、早速、日本遺産認定の次に世界遺産登録に向けての積極的な取り組みの表明があり、その実現に大いに期待し応援するものであるが、県をあげての体制強化など超えるハードルは高いと考える。今現在、その実現に向けての課題やスケジュールなどを伺う。</p> <p>(2) 市観光振興計画は、アクションプランとして具体性が高い内容である。最大の追い風を受ける雲南市並びに菅谷たたら山内の更なるシティプロモーションが必要だ。今後の展開について伺う。</p> <p>(1) 例年同様、市政懇談会の開催時期と説明内容が示されたが、市民に直結する重要な事業や関心度の高い事業（水道料の値上げ改定の方針や日本遺産認定、「たたら侍」のオープンセット活用など）が山積する中、本年度の示し方は明確さに欠けている点について確認する。</p> <p>①市政懇談会の目的は何か改めて伺う。</p> <p>②今年度の市政懇談会は平成27年度から取り組んできた1年間の成果の報告と本年度取り組む事業とのことであるがその具体について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		佐藤隆司	3. 市長の不退転の決意で臨まなければならない重要施策3点について	<p>議会は、市民の目線でしっかりと議論することが求められており、市長とは対等の立場に立ち、常に執行部と議会との信頼と緊張関係を保ちつつ情報公開をいただき、より良い市政を目指し、車の両輪となって市民福祉の向上、市政発展に寄与することが求められている。そこで重点施策3点について伺う。</p> <p>(1) 国民宿舎清嵐荘改築整備事業について</p> <p>①3月14日の産業建設常任委員会での事業費に関する副市長答弁の意味を確認する。</p> <p>②先般の全員協議会の市長の発言の意味を確認する。</p> <p>③市のブランド構築リーディング事業として位置づけ、既存施設との共存共栄を図る取り組みがされなければならないが、事業費の増大は民業圧迫とならないのか見解を伺う。</p> <p>④国民宿舎清嵐荘では、ビジネスの宿泊客の利用もあり、中心市街地活性化事業でのビジネスホテル誘致により、集客が分散化し当初の計画に影響が生じないか心配されるが、どのようなすり合わせがされ整合性がとられているのか伺う。</p> <p>(2) 中心市街地活性化事業について</p> <p>①食の発信推進事業とのすり合わせがされたが、6次産業化の「見える化」の施設部分や物販などの具体が見えないが、どのような計画をされようとしているのか伺う。</p> <p>②ビジネスホテル誘致は、企業立地助成の対象とし認定も検討することだが、市内中心部での宿泊、飲食のホテル業の展開は周辺既存施設との共存共栄が図られると考えられているのか、また、意</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		佐藤隆司		<p>見聴取がされての判断なのか伺う。</p> <p>(3) 食の幸発信推進事業について</p> <p>①平成26年度の基本計画策定から平成27年2月の実施計画に盛り込まれた経緯について、庁議規則に従って取り組まれた時系列を伺う。</p> <p>②平成27年3月の市長所信表明では、「平成26年度、食の幸発信推進事業の基本計画を策定し、拠点施設を道の駅「さくらの里きすき」の北側に整備することとし、平成30年度に完成・オープンを目指す」と表明された。今回の施政方針では、「昨年度は、基本的な構想案をまとめた」と表明されている。この表明の仕方が後退している違いは何か伺う。</p> <p>③すり合せにより事業内容が大幅に変更されたが、6次産業推進の拠点事業の当初の目的が図られるのか伺う。</p> <p>④山を切り開いた岩盤地帯を整備し、そうした場所に観光農園を設置することは、事業目的や場所選定からも疑問を感じるが現況の認識と見解を伺う。</p>	
4	13	細田実 (一問一答)	1. 島根原発について	<p>(1) 島根原発1号機廃止は完了まで30年間を要する計画である。どのような問題点があるか考えるか。</p> <p>(2) 特に使用済み燃料処理、また、廃棄先の決まらない低レベル放射性廃棄物の問題は深刻だ。廃棄先がきまらなければ島根原発敷地内で保管される可能性もある。どのように考えるか。</p> <p>(3) 中国電力は2号機と3号機を稼働させたいようだが、雲南市</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		細 田 実	<p>2. 清嵐荘改築について</p> <p>3. 消防後援会費について</p> <p>4. ホテル誘致について</p>	<p>と安全協定も結ばれていない。特に頻発する地震による「原発震災」が心配だ。どう考えるか。</p> <p>(1) 10億円で建設との説明をずっと受けてきた。それを前提にプロポーザル方式による設計業者選定も行われたと理解しているが、今日にいたり15億円の建設費との事である。経過からして到底理解できない。再度基本設計をやり直すべきではないか。</p> <p>(1) 高齢化、年金生活者の増から税外負担への苦情を聞く。消防後援会費についても聞くが、設置者である雲南市が福利厚生面の充実を図り解決すべきではないか。</p> <p>(1) ホテルを企業として誘致し産業振興条例をもとに支援する考えのようだが、産業振興条例及び企業立地促進助成金交付要綱では無理があるのではないか。他自治体が制定しているホテル誘致条例それに基づく要綱を制定し、目的、制度を市民に見える形にすべきではないか。</p>	
5	5	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 地域自主組織について	(1) 国に於いて法人化が議論されており、市からは、地域実態に即した使いやすい制度を要望されているが、具体的にはどうい	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		白 築 俊 幸	2. 農林業対策について	<p>ことか。</p> <p>(2) 各自主組織の力量には温度差があるが、それはそれで認めるということの良いのか。</p> <p>(3) 地域自主組織の代表は、基本的にはボランティアである。後継者がいなくて苦勞されているところもあるが、ボランティアでは若い人は困難であり、先ずは第一線を退いた人ということにならざるをえない。自主組織の職員への報酬について、どの様に考えているのか。</p> <p>(4) 市民との協働を旨とする地域自主組織の理想像はどの様なものか。</p> <p>(1) 今や、米作りの一番の難作業は、畦の草刈りである。出雲市は今年度から、中山間の条件不利地対策として、粘着剤等を混ぜた芝の種子を畦に吹き付ける新手法の導入を支援するとのことである。その具体的内容と雲南市についても有効なものか伺う。</p> <p>(2) 昨年度までジビエの調査・研究を行ってこられたと思うが、その成果はどうだったのか。</p> <p>(3) 木質バイオマスの集積場は、現在、南加茂だけであるが、チップを利用する箇所が増えてくる中で、輸送等も考えると、1カ所だけで大丈夫か。</p> <p>(4) 木質バイオマスは、これまでの燃焼による熱利用だけでなく、バイオマス発電に利用され始めている。原料の奪い合いも懸念されるが、その状況はどうか。</p> <p>(5) 農林水産省の HP に、補助金や融資、事例等の逆引き事典が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		白 築 俊 幸	3. たたら侍のオープンセット活用について	<p>アップされている。これは、国庫だけであり、県単・市単を含めて、何をしたいかから検索できる市独自の逆引き事典を作成してはどうか。</p> <p>(1) 地元農産物、お土産の販売等が計画されているが、短期決戦に間に合うのか。地元業者には、事前にアナウンスされているのか。</p> <p>(2) 関係7市町は、この度のイベントにどの様に参画するのか。</p> <p>(3) このオープンセットは、恒久的なものではないが、次年度以降の対応はどの様に考えているのか。</p>	
6	1	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 一貫教育と高校魅力化について	<p>(1) 市内3高校を「市立高校的な位置づけ」として魅力化を推進するとされた。高校を軸とした「中高大」を結ぶことは、市内外の若者の誘致と育成に繋がる一歩となる。雲南市への愛着という、一貫した地域愛教育を児童生徒に施し、市内高校、県内大学への進学を推進し、地元に残り地域を支える人材へと成長することは、最大の「課題解決」と考える。</p> <p>①本年度の市内3高校新入生のうち、市外・県外からの入学者数、市内中学校からの入学者数また、市外普通高校へ進学した生徒数は。</p> <p>②市内中学校から、他市の普通高校進学を希望する生徒への進路指導の方針は。</p> <p>③市外や県外、また、市内でも遠距離からの生徒の通学方法は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		松 林 孝 之	2. 体育館・野球場 について	<p>④通学支援に特化した市民バスと、高校寮費・下宿助成がスタートした。活用の現状は。</p> <p>⑤県事業「しまね留学」では、県下過去最高の入学生徒数であった。他市町との施策の差異は何か。</p> <p>⑥3校はそれぞれ特徴のあるカリキュラムと部活動を行っている。それを全面に打ち出し生徒の獲得を目指す学校に対し、地元自治体が支援してこそ「市立高校」である。以前提案した寮の設置やそれと連動した市立学習塾などについて見解を伺う。</p> <p>⑦高校卒業後に県外へ進学は51%、就職は6%との報道があった。更に、大学進学時に「地方に戻らない者」の割合が、全国で鳥取が最も高く、島根も下位から4番目である。島根大学や島根県立大学と連携を取り、県内大学への進学を推進するよう、高校へ積極的に働きかけるべきでは。</p> <p>(1) 健康都市宣言をしている本市において、体育館施設や野球場施設は、市民にとって大切な健康維持、増進に欠かせない施設である。老朽化の著しい施設や、利用環境において危険な施設もあるため、市では各施設のあり方が示されている。</p> <p>①体育館は地区内の防災関連施設としての役割も大きく、建設場所も問われる。整理対象とされた施設をはじめ、それぞれ8施設の計画は。</p> <p>②体育館施設のバリアフリー化は。</p> <p>③野球場については、以前に利用方法や整備方針を提案した。改修された部分もあれば、手つかずの場所もある。地域性や利用形態に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		松 林 孝 之		<p>応じた整備が必要では。</p> <p>④利用者の安心安全が最優先であるが、硬式野球対応球場の周辺整備は最重要課題だ。その整備計画について伺う。</p>	
7	2	中 村 辰 眞 (一問一答)	<p>1. 滞在型観光振興について</p> <p>2. 児童虐待防止の取組みについて</p>	<p>(1) 中心市街地活性化計画に合わせ、ビジネスホテルの進出が発表された。同時に清嵐荘の改築も検討されている。県内でも入込客に対する宿泊客割合が極めて低い本市にとって滞在型の観光スポットが必要である。そこで本市の伝説遺産ともいえるヤマタノオロチ伝説の活用について考えた。</p> <p>① ヤマタノオロチ退治を題材とした絵本の作成を昨年12月議会で提案した。絵本ができたと聞いたが、どのような活用がされているか伺う。</p> <p>② 絵本の朗読を、本市の公式動画投稿サイトにアップすることでPRの一助となると考えるが所見を伺う。</p> <p>③ 市内に点在するヤマタノオロチ伝説ゆかりの地それぞれに、オロチのオブジェなどオロチポイントを設定。オリエンテーリング風の「オロチ探し」を企画してはどうか。見解を伺う。</p> <p>④ 徹底したオロチの活用により、話題性が増し、本市の魅力を発信しやすくなるのではないかと考えるが見解を伺う</p> <p>(1) ここ最近の本市の児童虐待防止に対する取組は向上していると感じている。子ども政策局の活動が大きな結果としてあらわれていると考える。更なる虐待防止に向けての取組みの展開を期待する。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		中 村 辰 眞	3. 内部障がい の 対応について	<p>① 昨年11月末現在で本市における児童虐待相談援助実数は81件であった。児童虐待防止について、現在どのような取り組みがなされているのか伺う。</p> <p>② 厚生労働省は毎年11月を児童虐待防止推進月間としている。他市町においてはこの時期に啓発目的として懸垂幕を庁舎などにかかっているところもある。本市においても掲げてみてはどうか。見解を伺う。</p> <p>③ 本年4月1日、警察庁から各都道府県警察に対して「児童虐待への対応における関係機関との情報共有等の徹底について」という通達が発出された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ここで言う関係機関とはどこを指すのか伺う。 2. これによりどのような虐待防止に対する効果があるのか伺う。 <p>(1) 障害者差別解消法が施行となり、社会的障壁の除去、合理的配慮が求められている。</p> <p>最近、市民の方と内部障がいに対する本市の対応について意見交換したが、「見えない障がい」である内部障がいに対しても更なる配慮が必要と考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 内部障がいのある職員に対しての配慮はどのようなになっているのか伺う。 ② 各小中学校において内部障がいのある児童生徒への対応はどのようなになっているか。また、他の児童生徒へは内部障がいに対しどのような対応か伺う。 	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		中 村 辰 眞		③ 庁舎内各窓口には「耳マーク」が設置されており、聞こえに不安のある方や聴覚障がい者にとっては素晴らしい配慮である。昨年6月定例会一般質問において災害時支援の観点からヘルプカードの導入を求めた。「見えない障がい」である内部障がいに対してもヘルプカードは有効と考えるが所見を伺う。	
8	3	原 祐 二 (一問一答)	1. 女性活躍推進法について 2. 保育の充実について	(1) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく、特定事業主行動計画の策定状況について問う。 (2) 女性職員の職業生活における活躍に関する状況把握について問う。 (採用比率、管理職及びグループリーダー比率、勤務年数差、労働時間など) (3) 女性職員の活躍を推進するための目標（役職登用・採用）について問う。 (4) 協働の立場にある地域自主組織や指定管理事業者に対し、女性活躍推進法に関し、市はどのような関わりを考えているのか問う。 (1) 保育所の整備や認定こども園の推進により、子育て世代の保育ニーズは十分に満たされたのか。 (2) 保育所・こども園の無い小学校区（幼稚園区）の幼稚園をこども園化し、地域の子育て環境を充実すべきではないか。 (3) 保育ニーズの高い中心部（斐伊こども園・三刀屋こども園）から0歳から2歳の受け入れが出来るよう保育の充実を図るべき	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		原 祐 二	<p>3. 社会的養護(里親等)について</p> <p>4. 地域公共交通計画について</p> <p>5. 災害への備えについて</p>	<p>ではないか。</p> <p>(1) 本市における社会的養護児童数の推移について問う。</p> <p>(2) 要保護児童の措置先の実態と里親比率について問う。</p> <p>(3) 家庭的養護(里親・ファミリーホーム)の拡充に向けた取り組みについて問う。</p> <p>(1) 持続可能な公共交通ネットワークの形成を進めるための計画の必要性について問う。</p> <p>(2) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、策定が可能となった網形成計画・再編実施計画の作成メリットについて問う。</p> <p>(3) 本市における網形成計画・再編実施計画への取り組み状況について問う。</p> <p>(1) 本市の地域防災計画は、これまでの震災や土砂災害・水害等の教訓や国の要請に基づいた計画であるのか。</p> <p>(2) 本市における災害情報伝達(プッシュ型及びプル型)の状況は、市民に十分に周知されているのか。</p> <p>(3) 災害時のマンパワー不足に対する備えとして、社会福祉協議会や地域組織・NPO、民間事業者、他自治体等との連携や支援体制は十分に図られているのか。</p> <p>(4) 市内事業所の事業継続計画(BCP)の策定状況と策定支援について問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
9	11	土江良治 (一問一答)	<p>1. 婚活の現状とメニューの拡大について</p> <p>2. 落石事故防止対策について</p> <p>3. 放置竹林対策について</p>	<p>(1) 平成27年度の島根県の出生率は全国2位となったようだ。雲南市の結婚対策も功を奏していると自負したいところである。婚活対策は少子化対策の一環。できることはすべてやってみる必要がある。</p> <p>①現状の取り組みと成果、課題を伺う。</p> <p>②「シングルマザー限定」の婚活パーティーと「婿取り限定」の婚活パーティーを提案するので所見を伺う。</p> <p>(1) 5月4日、邑南町で落石死亡事故が発生した。市は早々に緊急点検を実施し、看板の無いところは看板の設置を、危険と思われる箇所は上部の詳細点検を検討するとした。しかし、パトロールにも限界がある。初期通報しやすい環境整備のため、次の事を提案したい。</p> <p>①従来の看板は「落石注意」の文字しかない。路線名、連絡先がないので、今回を機会に全部更新すべきだ。</p> <p>②落石前兆のある箇所は山間部に多い。通報しようにも、場所の特定が難航する。位置を客観的に示す番号などを付すべきだ。</p> <p>(1) 耕作放棄地が進む一方、竹林の管理放棄による竹林の拡大は所有境を越えて破竹の勢いである。このまま放棄しておけば、隣接する造林地を破壊し、田畑や空き家の軒先まではびこるようになる。このような現状をどのようにとらえているのか。</p> <p>(2) 広島県庄原市では樹木粉碎機を導入に対し市の補助金があり、酪農家と手を組み堆肥化して米作りで成果を挙げ、米コンテスト</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		土江良治	4. 民有の道路上 放置山林の防災間 伐について	<p>で日本一に輝いている。市内の樹木粉碎機の稼働状況及び処理されたものの利用状況を伺う。</p> <p>(3) 市も積極的な適正管理を啓発し、竹林縮小運動を展開すべきと思うがどうか。</p> <p>(4) 政府は平成29年度から耕作放棄地の固定資産税増税を決めているが、所有境を越えても処置されない放棄竹林地についても同様の考えが必要である。そこで、放棄竹林地所有者に迷惑をかける適切な管理を促すための義務を条例化することはできないか。また、放棄竹林地縮小のため公的支援はできないか伺う。</p> <p>(5) 竹を撲滅するには薬剤散布と伐倒処理の2種がある。高齢者には伐倒した場合は積み上げ、粉碎の場合は処理工程や竹粉の容器納入が容易ではない。地主負担プラス公的支援で建設業者の仕事確保に繋げていくことは出来ないか伺う。</p> <p>(1) 近年異常豪雨災害が多発している。道路に倒れる危険のある立木の山林所有者は多い。この処理は本来所有者の責務だが、高齢化と後継者不足のうえ処理代も高額で手つかずの所が多い。奈良県天川村では、このような立木を伐採する労賃助成により、村ぐるみで「防災間伐」を行っている。雲南市は高所作業車を所有しているが、道路上などの危険と思われる立木をどう点検し、所有者にどのように対応されているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
10	9	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 持続可能な社会に向けた取り組みについて	<p>(1) 国レベルの課題・・・国にとっては「エネルギー」と「食料」の安心・安全・安定的確保が絶対条件だ。農政が混迷する中、自治体みずからも食料自給率を上げ、農業者の確保と所得向上への政策が必要だ。</p> <p>①市の農業衰退をくい止めなくてはならないが、市の農業関係補助金は削減の流れにある。新規就農や転作に対する上乗せ補助などに対して、抜本的かつ思い切った対応を打ち出していくべきではないか。</p> <p>②6次産業化施設整備については、中心市街地活性化事業との整合を図るとの理由で大幅に後退した修正案が示された。これでは尺の内で行う必然性はなく、木次道の駅を生かす相乗効果を考えるべきだ。</p> <p>(2) 市の課題・・・市勢のバロメーターは「人口」、「経済」、「コミュニティ」だ。</p> <p>①「人口」はいかに早くフラットな定常状態にもっていくかがカギだが、大きな問題である労働人口減少に対してどう取り組んでいくのか。</p> <p>「経済」に関しては、市外流出を抑え、市内循環を高め、外貨獲得していかなければならないが、取り組みが緒についたばかりで成果はこれからだ。</p> <p>②若者の非正規就労の実態を把握しているか。また、どう対応していくのか。</p> <p>③プレミアムカタログギフトは適当な価格設定を加え、継続すべきだ。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>④公共工事発注は、年度当初から夏までを配慮した、平準化の仕組みをつくるべきだ。</p> <p>⑤誘致するビジネスホテルと改築する清嵐荘については、交流人口拡大と外貨獲得の拠点に位置づけて、また、両立可能な根拠をもって取り組むべきだ。</p> <p>⑥市外に拠点を置くディスカウントストアの中心市街地エリアへの進出に対してどう対応するのか。</p> <p>(3) 行政運営の課題・・・「財政」、「公共施設」、「セーフティネット」、「人材育成」どうするかが問われる。セーフティネットに関して、</p> <p>①慢性的な保育士不足に対して、柔軟な雇用形態や、待遇改善によって、潜在保育士が活かされているのか。</p> <p>②市の待機児童は9名と報道されたが、来年度はゼロにできるのか。</p> <p>③小規模幼稚園はこども園化しないのか。</p> <p>④生活困窮家庭の子どもたちに対して、どのような学習支援事業が行われているか。</p> <p>⑤高齢者等タクシー利用助成事業は、本来の目的にあった利用がなされているか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考